

ズバリ!聞きます



荒木 政士議員

定住促進で町の活性化を！

[町長] 宅地分譲と公営住宅は、検討する必要がある。

問 町の活性化策として、特に昨年3月九州新幹線的全線開業を期に、他町においてもいろんな施策を打ち出している。わが町においても、「観光による町づくり」を推進しているが、具体的な取り組み、又、成果について伺う。町として観光協会へ200万の補助金を出している。観光協会の活動についても合わせて伺う。

答 (経済課長) 古墳祭、戦国国衆祭のイベント、玉名市、山鹿市、菊池市広域による連携での取り組み・手渡し和紙体験交流事業などを中心としたグリーンツーリズムの推進、又、平成21年度から始めている観光ルート開発事業等行っている。観光協会の活動については、視察研修や、観光パンフレットの作成も検討されている。

問 わが町の観光の拠点は、菊水地区では、ロマン館、船山古墳、民家村。三加和地区では、三加和温泉、八つの神様巡りであろうと思う。特に三加和温泉ふれあいの森開発構想を立ち上げて、観光の拠点、又、宅地分譲等の活用を計っているかがか。

答 (町長) ふれあいの森検討委員会(13名)において昨年度

3回の会合で「周辺施設との一体的な連携のもと、里山再生活動による環境保全に配慮した森づくり」「民間活力の導入による施設整備を図りながら地域経済の活性化を目指す」との具申をいただいている。今後、ふれあいの森だけではなく、神尾小学校跡地も含め、三加和温泉等の再生も考えていきたい。

問 私は、一貫して定住促進策、宅地分譲、町営住宅建設を主張してきた。町長も必要性は感じておられるが、この6年間で、グリーンビレッジ平野の11区画である。早急な取り組みを望みたい。

答 (総務課長) 今職員による学校跡地検討委員会を立ち上げている。町民の意向調査、アンケート調査を行い、24年度中には、町民代表有識者による検討委員会を立ち上げ、25年度には、活用方向を決定する中で、町民の要望があれば、宅地分譲、公営住宅も検討する必要がある。



宅地分譲により整備された『平野ビレッジ』

あるかと思っている。その他の一般質問は、次の通り。

◎町単独の町道改良費が、合併当時に比べ半減している。景気雇用対策の上でも、来年度予算の増額を。

◎中山間総合整備事業が、凍結された。東部地区の採択を！

◎経営体育成事業(国庫事業)と町単独の農業振興補助事業等で、農業者支援を。

◎鳥獣被害防止対策を万全に。

一般質問

『町民憲章・花、木、鳥』の 町民に対する普及・啓発は…



杉村 幸敏議員

[町長] 機会あるごとに
周知を図っていく！

問 和水町の町民憲章が9月30日に告示され、町のシンボルとなる(花はヒマワリ、木は桜、鳥はうぐいす)と又、立派な町民憲章が発表されたが、今後どのような方法で町民の皆様へ普及していかれるのか伺う。学校教育上どのような指導を考えておられるか教育長の見解を伺う。

答 (町長) 今後機会あることに周知を図っていく。町民の皆さん方への周知、普及啓発については、広報なこみ10月号と町のホームページに決定した。町民憲章及び町の花、木、鳥を表した証書を各世帯、各行政区、公民館に掲示していただくように配布した。合わせて町内の小中学校、公民館等にも配布した。

答 (教育長) ヒマワリ、桜、うぐいすは子どもが知っているか学校で聞いてもらったが、桜、ヒマワリはほとんどの子どもが知っていたが、うぐいすは、2割ほどの子どもしか知っていなかった。町の鳥うぐいすについては、子どもに理解できるように、図鑑なんかののっているの、学年に応じて1回はぜひ学校で指導していただくように校長先生を通じてお願いしている。又、三加和中の周

辺には桜も十分ではなく、学校の完成とともに植樹をしたと思う。町民憲章については、学校に於いて、是非担任の先生が読み上げて、この解説の所を学年に応じた形で説明し、親しんでもらうよう指導していく。

問 町民憲章の啓発普及のための予算の計上の考えはないか伺う。

答 (総務課長) 予算の計上については、先般、各家庭へ配布した、町民憲章の費用や成人式の桜の苗木と費用など、当然予算は伴うと思う。

問 熊本県公
共関与型、産業
廃棄物処分場
について、町長
は、先の11月11
日の全員協議
会で、産業廃棄
物処分場建設
を容認され、11
月25日、県と環
境整備事業団
と基本協定書
を結ばれたと
発表があった
が、今後、基本
協定書を基に
県との協議に

なると思うが、町長としての決意の程を伺う。

答 (町長) 基本協定に基づき、将来にわたって安全性を確認していきたい。

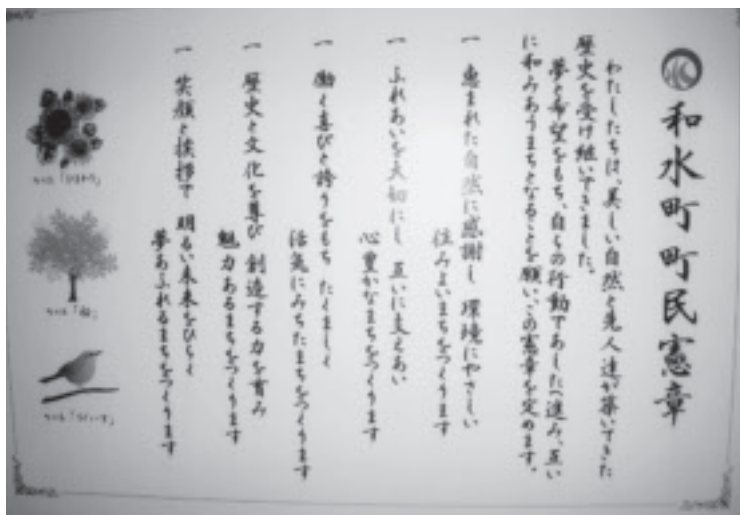
その他の一般質問は、次の通り。

◎農業振興について

◎町の基幹産業としての位置付けについては、予算が少ないと思うが、平成24年度予算の考え方について

◎耕作放棄地対策について

◎後継者対策に対する考えについて



全戸に配布された『町民憲章』